

The Legacy of World EXPOs

Reflections on Demolition, Regeneration, and Unfinished Endeavors

万博のレガシー — 解体と再生、未完の営為を考える —

人類の
進歩と
調和

万博と日本
グローバリズムの光と影



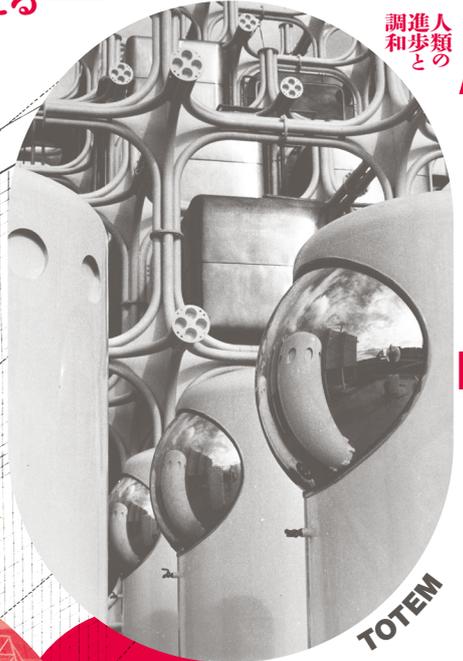
METABOLISM

文明開化

メタボリズムと共生
黒川紀章(SEPO'70)
を中心に



CAPSULE



TOTEM

メタボリズム

万博に託された理念や付随する今日的課題



幻の万博



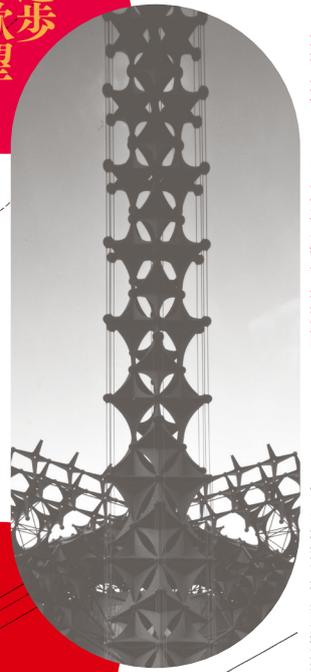
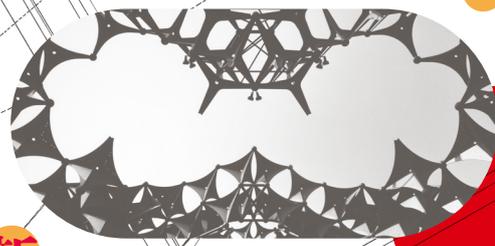
進歩
と欲望

トーテム

創造と解体をくりかえす万博の特異な祝祭空間



新陳代謝



協力 株式会社黒川紀章建築都市設計事務所、タカラヘルメント株式会社、株式会社乃村工藝社

2026.2.14 SAT - 5.6 WED

開館時間：9時30分—17時(入場は16時30分まで) 休館日：月曜日[祝休日の
2月23日、5月4日は開館]、2月24日[火]、4月1日[水]—5日[日](空調改修工事のため)

観覧料：一般600(480)円、大学生330(290)円

* ()内は20名以上の団体料金 * 高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料 * 2月28日、3月28日、4月25日(毎月第4土曜日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料 * 3月1日、5月3日(毎月第1日曜日)は無料観覧日

1872 ● 1970 ● 2025

和歌山県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA



EXHIBITION METABOLISM

WAKAYAMA 2026

万博のレガシー

—解体と再生、未完の営為を考える—

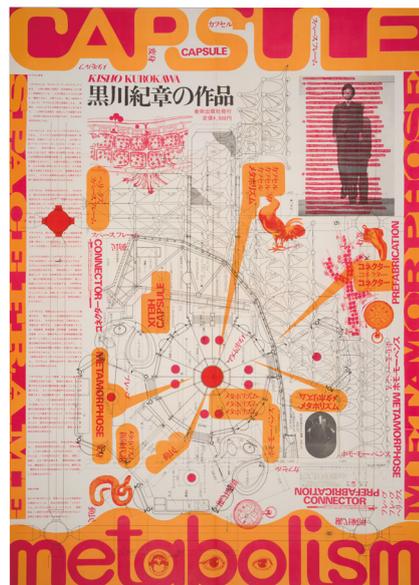
Reflections on Demolition, Regeneration, and Unfinished Endeavors

2026.2.14 SAT 5.6 WED



1 2025年、「いのち輝く未来社会のデザイン」を統一テーマに「日本国際博覧会(大阪・関西万博)」が開催されました。1851年に圧倒的な工業力を世界に示すためロンドンで誕生した国際博覧会(以下、万博)は、参加国が自国の文化や高い技術力を発信する一大催事として今日まで世界各地で行われてきました。それは同時に、植民地問題、民族問題、環境問題など国際社会が抱えるさまざまな矛盾と葛藤を内包してきました。万博の変遷は、19世紀から21世紀を迎えて四半世紀の現在に至る西洋近代主義のグローバル化の光の軌跡であると同時に、20世紀のふたつの世界大戦に象徴される文明の影と不可分の歴史であると言えるでしょう。近年の万博では、参加者にも現代社会がはらむ数多の課題について考える姿勢が求められています。

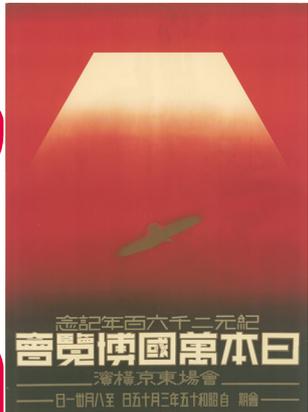
本展は、創造と解体をくりかえす万博の特異な祝祭空間について2部構成でふりかえります。第1部【万博と日本 グローバリズムの光と影】では株式会社乃村工務社の博覧会コレクションを中心に、日本との関わりに重点をおき、19世紀の初期万博から1970年大阪万博開催までの歴史や会場空間の変遷をたどり、今日的視点からその意味を探ります。第2部【メタ



2 ボリズムと共生 黒川紀章のEXPO'70を中心に】では「人類の進歩と調和」を統一テーマに掲げた1970年大阪万博において「メタボリズム(新陳代謝)」という建築理念をキーワードに複数のパビリオン設計に関わり、1990年代に当館の設計を手がけることになる建築家・黒川紀章の仕事や、今回の万博の統一テーマにも連なるその先見性と合わせて紹介。さらに、大阪・関西万博にて和歌山ゾーンに出品されたアートワーク「トータル」を特別展示いたします。

万博に託された理念や付随する今日的課題にもふれる本展は、万博のレガシー(遺産)について来場者の皆様とともに再考する機会となるでしょう。

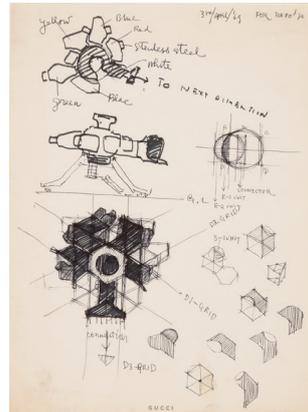
表:中央=EXPO'70空中テーマ館【模型写真】1968年(撮影:新建築社写真部)、右上・右下=EXPO'70タカラ・ビューテリオン 1970年(撮影:黒川紀章建築都市設計事務所)、その他=黒川紀章EXPO'70関連写真(撮影:大橋富夫)、背景=黒川紀章(和歌山県立近代美術館 打合せ図 B 底下アコンノメトリック図)1993年 全て黒川紀章建築都市設計事務所蔵
裏:1.吉本英樹(EXPO2025と和歌山ゾーントータル)2025年、2.津津潔(黒川紀章の作品【ポスター】)1970年 美術出版社刊 個人蔵、3.中山文孝(紀元2600年記念 日本万国博覧会【ポスター】)1938年 京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵 AN. 2694-37、4.昇斎一景(元ト昌平阪聖堂ニ於テ博覧会図)1872年 乃村工務社蔵、5.黒川紀章(EXPO'70空中テーマ館住宅カプセル【スケッチ】)1969年 黒川紀章建築都市設計事務所蔵、6.黒川紀章(EXPO'70タカラ・ビューテリオン【模型】)1968年頃 タカラベルモント蔵



3



4



5



6

2022年	2【記念講演会】14:00-15:00 隈研吾(建築家、東京大学特別教授・名誉教授)	2026年	タカラベルモントプレゼンツ【スペシャルトーク】14:00-16:00 コシノジュンコ(デザイナー) コメンテーター:本橋弥生(近現代ファッション文化史、京都工芸繊維大学准教授)
2026年	3【トークセッション】15:00-16:00 建島哲 × 隈研吾 × 吉本英樹 (美術評論家) (建築家) (デザイナー)	2026年	3月8日(日)

*当日9時30分より整理券を配布します。その他、詳細が決まり次第、当館ウェブサイトで公開します。



◎JR和歌山駅から:バスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
◎南海電鉄和歌山市駅から:徒歩15分/バスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
◎南海電鉄なんば駅から和歌山市駅まで特急で約1時間
◎JR新大阪駅・大阪駅からJR和歌山駅まで特急で約1時間
◎駐車場:2時間まで無料、以後30分ごとに100円

【同時期に開催中の展覧会】
MOMAWコレクション 関西の戦後美術(2月14日[土]-5月6日[水・休])
MOMAWコレクション 現代の美術 第6期(1月31日[土]-3月31日[火])ほか

和歌山県立近代美術館 THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA

https://www.momaw.jp
〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 tel. 073-436-8690 fax. 073-436-1337

